

太田川駅周辺地区  
まちづくりニュース  
2012.4

# あめをかわ

Vol.  
34



太田川駅東(H24.3撮影)

元気あふれる  
快適都市  
祝<sup>桜花</sup>まち開き

東海市らしさの創造と市民の夢の実現をめざし、市民に、  
そして全国に発信するため、次のとおり都市宣言をしました。

## 東海市都市宣言

平成22年3月4日

- ひとづくりと平和を愛するまち東海市
- 子育てと結婚を応援するまち東海市
- 生きがいがあり健康なまち東海市
- 緑と洋ランにつつまれたまち東海市
- にぎわいあふれ個性輝くまち東海市

# 土地区画整備事業について



太田川駅周辺では、東海市の玄関口としてふさわしい中心市街地を整備するため、土地区画整理事業を進めています。

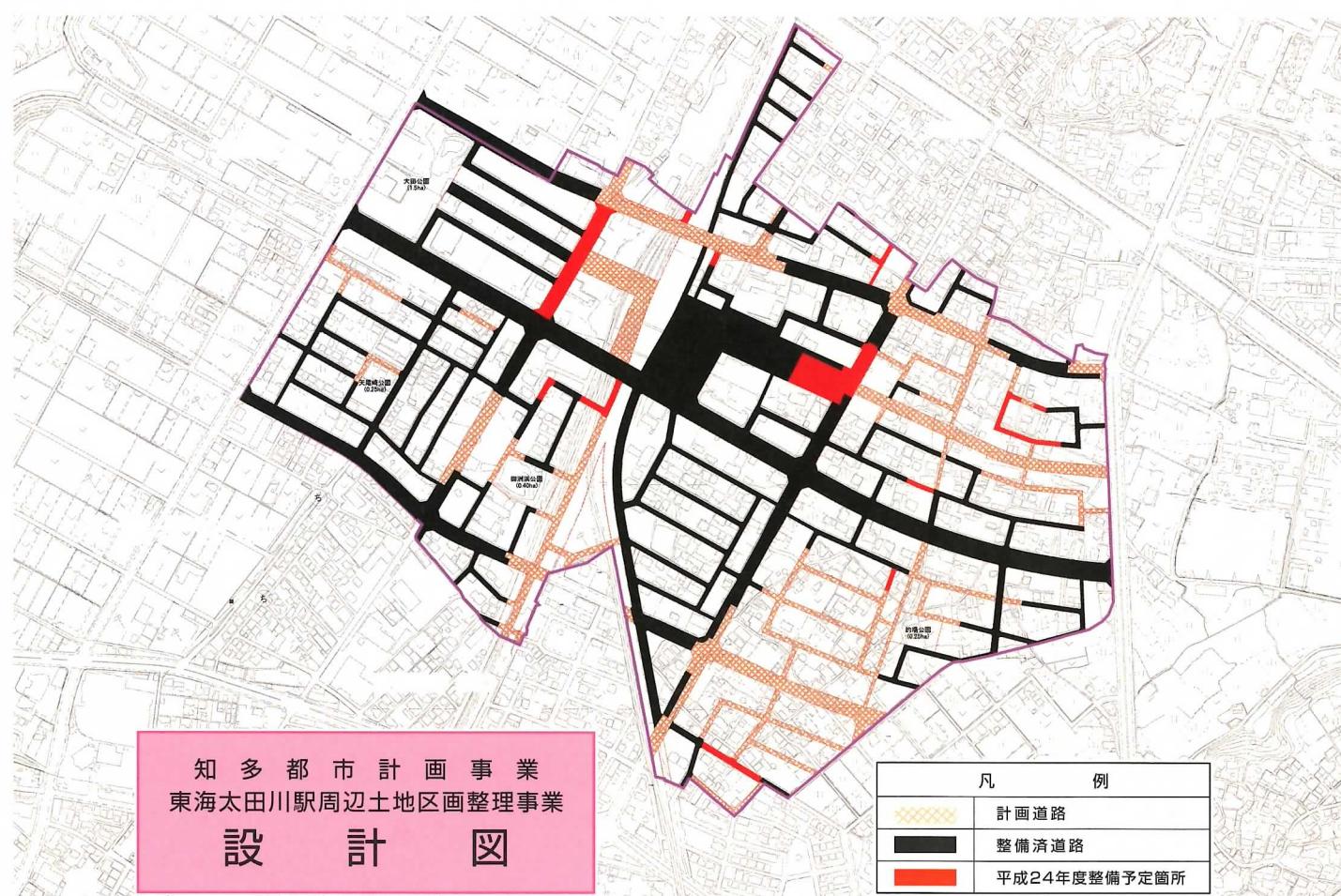
- ・施行面積 64.3ha
- ・事業期間 平成4年度～平成27年度
- ・総事業費 約396億円
- ・平成23年度末における事業進行率 約84%

## ■ 物件移転

- ・要移転戸数 719戸
- ・累計移転戸数 545戸
- ・進行率 約76%
- ・平成24年度移転計画 35戸

## ■ 整備工事

太田川駅西線や50m歩道など駅周辺の整備を進めています。



# 連続立体交差事業について

平成13年度から始まった太田川駅付近約2.7km（常滑線約2.0km、河和線約0.7km）の連続立体交差事業は、平成15年3月の工事着手、平成20年11月の仮線切替えを経て、平成23年12月に高架化が完成し、営業運転を開始しました。

この高架への切り替えにより、区間内の6か所すべての踏切が除却され、踏切渋滞や踏切事故の心配がなくなりました。

今年度は、主に仮線や仮駅の撤去を行っていきます。

また、高架下空間を利用した駐輪場整備も行い、駅北は7月、駅南は10月に完了の予定となります。



太田川駅・駅前広場



高架下駐輪場（駅南）



市道 太田川駅前通り線



新循環バス運行開始式

太田川駅前線は3月20日に開通し、鉄道を挟んでの東西の行き来が便利となりました。また、らんらんバス（東海市循環バス）の路線設定を1ルート2循環から北・中・南の3ルート各2循環に再編し、鉄道や独自路線バスなどと連携する新たな循環バスの運行を開始しました。

# 太田川駅前まち開きフェスティバルについて

名鉄太田川駅周辺を、市の顔となるにぎわいと活力にあふれる中心市街地とするために、これまで土地区画整理事業、連続立体交差事業、市街地再開発事業を三位一体の事業として進めてきました。

こうしたなか、駅の東側には平成23年4月に大規模小売店舗（ソラト太田川）・東海市民交流プラザがオープンし、12月17日には新生中心市街地のダイナミックなまちづくりのシンボルとなる新太田川駅が完成いたしました。このたび、駅前広場などの完成に合わせて、市内外の多くの方々に本市のまちづくりを広くPRさせていただくために、平成24年3月24日・25日に「まち開きフェスティバル」を開催しました。



記念式典



山車総揃え

# 駅西地区の整備について

## ■ 大型商業施設の進出(ユニー)



駅西地区においては、再開発ビルとともに30m歩道の北側の街区及び鉄道高架下において、ユニーが商業施設を計画しており、一体的な商業拠点が形成されます。

多様な市民ニーズに対応した店舗構成で、駅前にふさわしい、質の高い商業施設が検討されています。

開店時期については高架下を含め平成26年秋の予定です。

### 【店舗概要】

- ・店舗規模 旧ユニー太田川店と同程度
- ・店舗構成 食品スーパー、衣料、生活関連品、飲食、サービスなど

# 市街地再開発事業について

## ■ 駅西地区市街地再開発事業



駅西地区の市街地再開発事業においては、市街地再開発準備組合が、本組合設立に向けて、再開発ビルの基本設計業務を行ないました。

このビルは東海市の新文化施設とともに、店舗や共同住宅を配置した複合ビルとして計画を進めており、平成27年春の竣工予定です。

### 【建物概要】

・建築面積	約6,400m <sup>2</sup>
・延べ面積	約36,300m <sup>2</sup>
・規模	地下1階地上16階建
・主要用途	
店舗	1階～2階部分
文化施設	1階～5階部分 (下記のとおり)
共同住宅	1階～16階部分 約100戸

(共同住宅の一部は近鉄不動産(株)が分譲予定)

## ■ 日本福祉大学の進出



平成23年12月26日付けで締結した覚書を踏まえ、平成24年3月25日に日本福祉大学と駅西地区への進出に向け基本合意書を締結しました。

看護学部を中心とした大学で、学生数は1,700人を超えるものを予定しており、太田川駅周辺のにぎわい創出及び市民の生涯学習に大きく貢献していただけるものと期待しています。

平成27年4月開校を目指しています。

### 【大学概要】

- ・学部(仮称) 看護学部看護学科  
経済学部経済学科  
国際福祉開発学部国際福祉開発学科
- ・建設地 土地区画整理事業地内(20街区)

※写真はイメージ（東海市作成）です。

駅西から東を望む

## ■ 太田川駅西地区文化施設



平成22年度に策定された基本構想に基づき、新文化施設の基本設計等についてまとめました。

この基本設計を進めていく上では、市民の目線でにぎわいづくりのための文化施設の整備及び運営の仕組みについて調査、研究をしている「文化によるにぎわいづくり市民研究会」で出された意見、提案を役立てています。平成27年春オープンを目指しています。

### 【施設概要】

- ①発表・鑑賞ゾーン  
大ホールと多目的ホールを中心とした、創造活動の発表や優れた鑑賞事業を行なえるゾーン  
・大ホール 約1,000席  
・多目的ホール 約300席
- ②参加・体験ゾーン  
来館者が気軽に文化芸術に触れることができるゾーン
- ③創造支援ゾーン  
大小様々な練習室や創造室を設けた市民の創造活動が行えるゾーン
- ④管理ゾーン  
各ゾーンの機能を補完し支援するための事務室等を設けたゾーン

※写真はイメージ（東海市作成）です。

# 太田川駅（東側）駅前広場・50m歩道の整備について

「東海市の顔にふさわしい、美しい都市景観と都市拠点の形成」、「まちの中心部に花・水・緑をテーマとした潤いあふれる空間の充実」をコンセプトとし、緑あふれるケヤキ並木、山車などのお祭や朝市、ウインターイルミネーションなど多様なイベントができる駅前空間として、平成23年度には鉄道高架の高架切替えに併せ駅東商業施設の北側から駅舎までの区間を整備しました。平成24年度にはその東側の芝生広場の整備を予定しています。

マとした潤いあふれる空間の充実」をコンセプトとし、緑あふれるケヤキ並木、山車などのお祭や朝市、ウインターイルミネーションなど多様なイベントができる駅前空間として、平成23年度には鉄道高架の高架切替えに併せ駅東商業施設の北側から駅舎までの区間を整備しました。平成24年度にはその東側の芝生広場の整備を予定しています。



# 事業についてのお知らせ

## ■ 工事にご協力を

地区内では整地や道路等の工事を行っています。このため付近の方々をはじめ通行される方にご不便をおかけしておりますが、ご理解とご協力をお願いします。



## ■ 土地・建物等への立ち入りについて

現在、市では建築物等物件調査などの業務を進めています。

この業務のため皆様の所有する土地や建物等に市職員または委託業者が立ち入ることがあります、ご理解とご協力をお願いします。

## ■ 建築工事などをされる方は、事前にご相談ください

まちづくりを進めるためには、皆様のご理解とご協力が必要です。建築や工事が無計画・無統制に行われると、まちづくりの障害となるばかりでなく、計画的なまちづくりをすることができません。

施行地区内で事業計画決定の日(平成4年9月24日)から換地処分の公告の日までの間に建築行為などをしようとするときは、東海市長の許可が必要です。施行地区内で建築行為などをしようとする方は、事前に中心街整備事務所までご連絡ください。

## ■ 所有权に移動があった場合は、届け出てください

区域内の土地について、売買、相続などにより所有權に移動があった場合は、中心街整備事務所へ届け出させていただきますようお願いします。

## ■ 電柱等の設置について

交通安全を考慮した快適なまちづくりを実現するため、電柱等を宅地内に設置することにご理解をいただき、電線類管理者による建柱要請にご協力をお願いします。

## ■ 東海市公共下水道事業 受益者負担金について

使用又は収益をすることができる仮換地については受益者負担金が賦課されます。

## ■ 固定資産税の仮換地課税（みなし課税）について

使用又は収益をすることができる仮換地については平成21年度から「仮換地課税」が実施されています。

## ■ 仮換地証明等の権利者以外の方の申請について

仮換地証明等を権利者以外の方が申請する場合は、権利者の方の委任状が必要となります。

## ■ 事務所案内図

中心街整備事務所

〒477-0031

東海市大田町川南新田144番地の1

T E L 0562-33-7761

F A X 0562-33-7775

E-mail chuushin@city.tokai.lg.jp

U R L <http://www.city.tokai.aichi.jp>



このニュースは、皆様と市が一体となってまちづくりをするための資料です。